

2021年12月3日
九州旅客鉄道株式会社
マリオット・インターナショナル

【九州旅客鉄道株式会社とマリオット・インターナショナル】 九州初となる「マリオットホテル」の契約を締結 「長崎マリオットホテル」誕生



長崎マリオットホテル外観イメージ

九州旅客鉄道会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長執行役員:青柳俊彦、以下「JR九州」)および、マリオット・インターナショナル(本社:米国 メリーランド州、最高経営責任者:アンソニー・カプアーノ、社長:ステファニー・リナーツ)は、九州初進出となる「マリオットホテル」を、長崎県長崎市に開業する契約を締結いたしました。

長崎は、日本が鎖国をしていた時代にも海外に開かれた港を有したため、独特の文化を発展させるとともに、二つの世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」「明治日本の産業革命遺産」を有する魅力あふれる地域です。地域の魅力を発信し、地域を元気にすることを標榜する JR九州と世界最大のホテルチェーンであるマリオット・インターナショナルとの協業により、世界からのお客さまに最高の体験をご提供するホテルとなることを目指してまいります。

なお、建設地は、2022年度秋頃開業予定の「西九州新幹線」発着駅であり、電車、バス等の交通結節点となる長崎駅に直結する新長崎駅ビルの上層階に位置します。スイートルームやバルコニー付タイプを含む約200室の客室、オールデイダイニング レストラン、スペシャリティ レストラン、ロビーラウンジ、フィットネスジムをはじめとした魅力的な付帯施設を備えたホテルを計画しており、2023年秋頃の開業を予定しています。

■九州旅客鉄道会社 代表取締役社長執行役員、青柳俊彦のコメント

「マリオット・インターナショナルとのパートナーシップにより、長崎に九州初のマリオットホテルをオープンできることを大変嬉しく思います。長崎は、国内外の旅行者にとって、ビジネスやレジャーの重要な目的地として急速に成長しています。長崎マリオットホテルがオープンすることで、国際水準のホスピタリティとサービスをお客さまに提供し、国際観光都市長崎の発展に貢献できることを楽しみにしています」

■マリオット・インターナショナル 日本・グアム担当エリアヴァイスプレジデント、カール・ハドソンのコメント

「九州旅客鉄道株式会社とのパートナーシップにより、長崎で初のマリオットホテルをオープンすることができ、大変嬉しく、光栄に思います。マリオットホテルのブランド理念は、未来志向で賢く独創的な旅行者のニーズを中心に考え抜かれており、目的地に到着したときにインスピレーションあふれる空間でお客様をお迎えすることで、滞在中のあらゆる面を通して旅行というものを進化させています。今回の契約締結は、当社が今後もホスピタリティ・ブランドのポートフォリオを拡大し、日本中のすべての旅行者の皆様へのニーズに応えていくことを明確にするものです」

【施設概要】

ホテル名称：長崎マリオットホテル
ブランド名：マリオットホテル
所在地：長崎県長崎市尾上町1-1
※JR長崎駅直結
延床面積：約20,000㎡
階数：地上7階～13階
客室数：200室(予定)
付帯施設：レストラン・ロビーラウンジ・フィットネスジム等
開業時期：2023年秋頃(予定)



7F ロビーイメージ

九州旅客鉄道会社について

九州旅客鉄道株式会社(JR九州、本社：福岡県福岡市)は、九州新幹線をはじめ、地域に根ざした物語と特別なデザインを備えたD&S列車を九州各地で運行しており、列車に乗ること自体をお楽しみいただけます。さらに、クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」の運行を通じて、九州の魅力を世界に発信し、より多くのお客さまに九州を訪れていただけるよう誘客に努めています。「安全とサービスを基盤として九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ」を「あるべき姿」として掲げ、安全・安心なモビリティサービスを軸に九州の持続的な発展に貢献するべく、不動産事業、ホテル事業、流通・外食事業等、様々な事業を展開し、地域に寄り添った、まちの未来づくりに向けて取り組んでいます。

<当社ホームページ> <https://www.jrkyushu.co.jp/>

マリオット・インターナショナルについて

マリオット・インターナショナル(NASDAQ: MAR、本社：米国メリーランド州ベセスダ)は、138の国と地域に30ブランド、合わせて約7,800軒の宿泊施設を擁するホスピタリティ企業です。世界中でホテルの運営およびフランチャイズや、リゾートのオーナーシップ・プログラムを展開しています。当社は、受賞歴を誇る旅行プログラム、Marriott Bonvoy™(マリオットボンヴォイ)を提供しています。詳しい情報は、www.marriott.co.jp をご覧ください。また最新の企業ニュースは、www.marriottnewscenter.com をご覧ください。Facebook や @MarriottIntl にて Twitter と Instagram でも情報発信しています。

※画像はいずれもイメージであり、今後の設計及び関係機関等との協議により変更する場合があります。